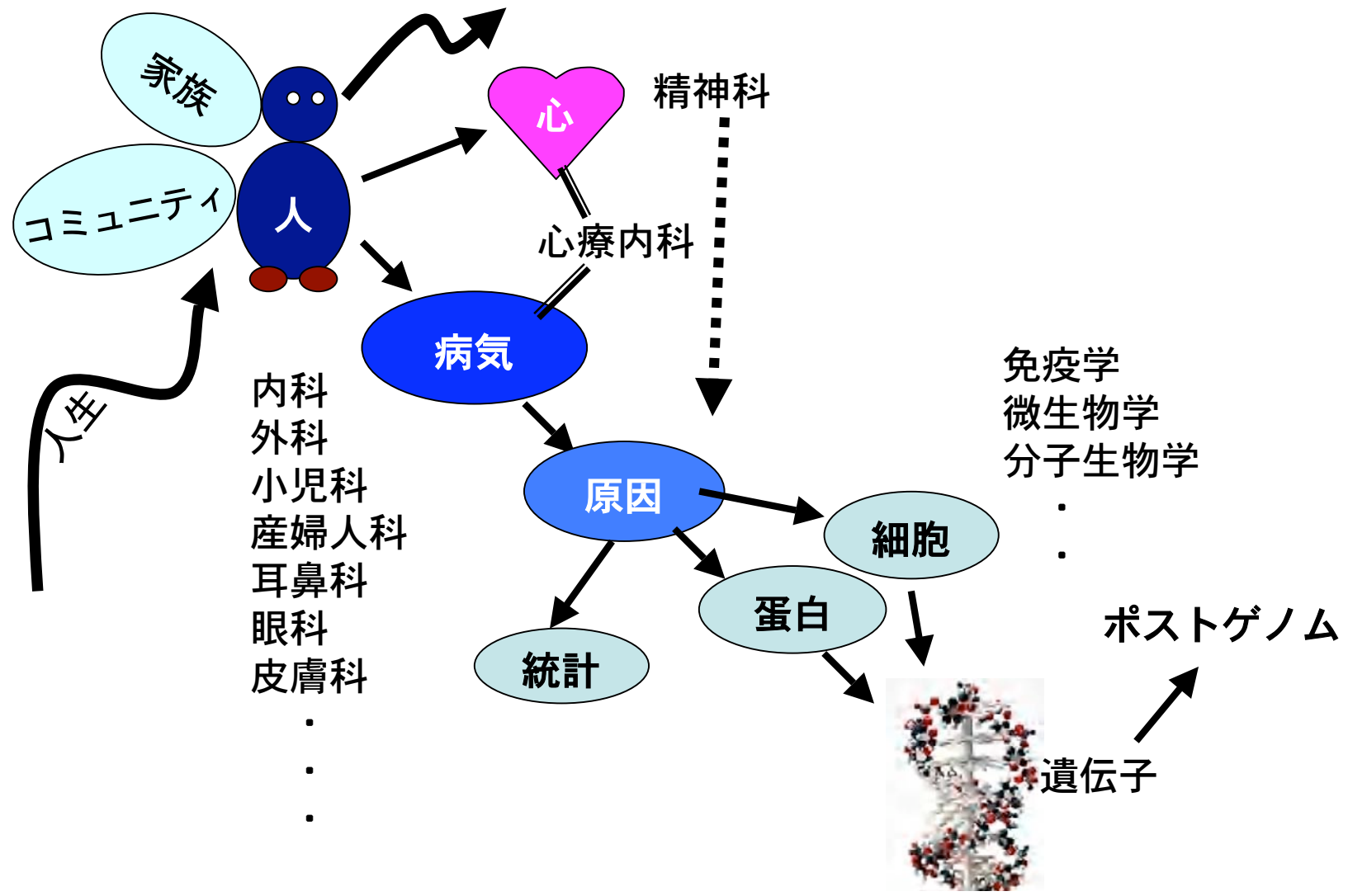


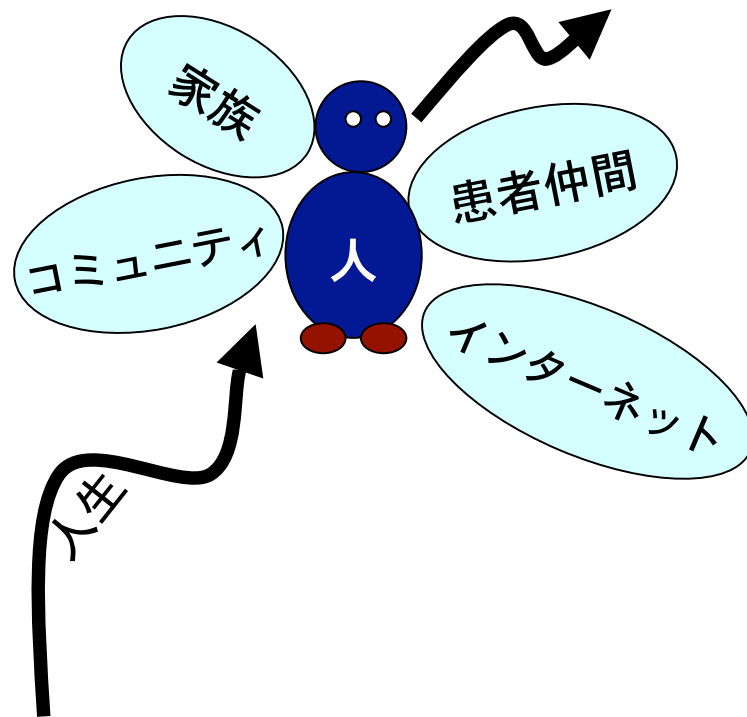
患者学

東京大学医科学研究所

探索医療ヒューマンネットワークシステム部門

田中 祐次





●コミュニティの変化

大家族



核家族

●情報伝達手段の変化

新聞



新聞、ラジオ、テレビなど

インターネット
携帯電話

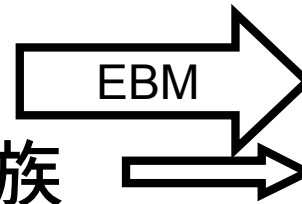
患者、家族への情報

専門家（医師など） ⇨ 患者、家族



コミュニティの変化
情報伝達の変化

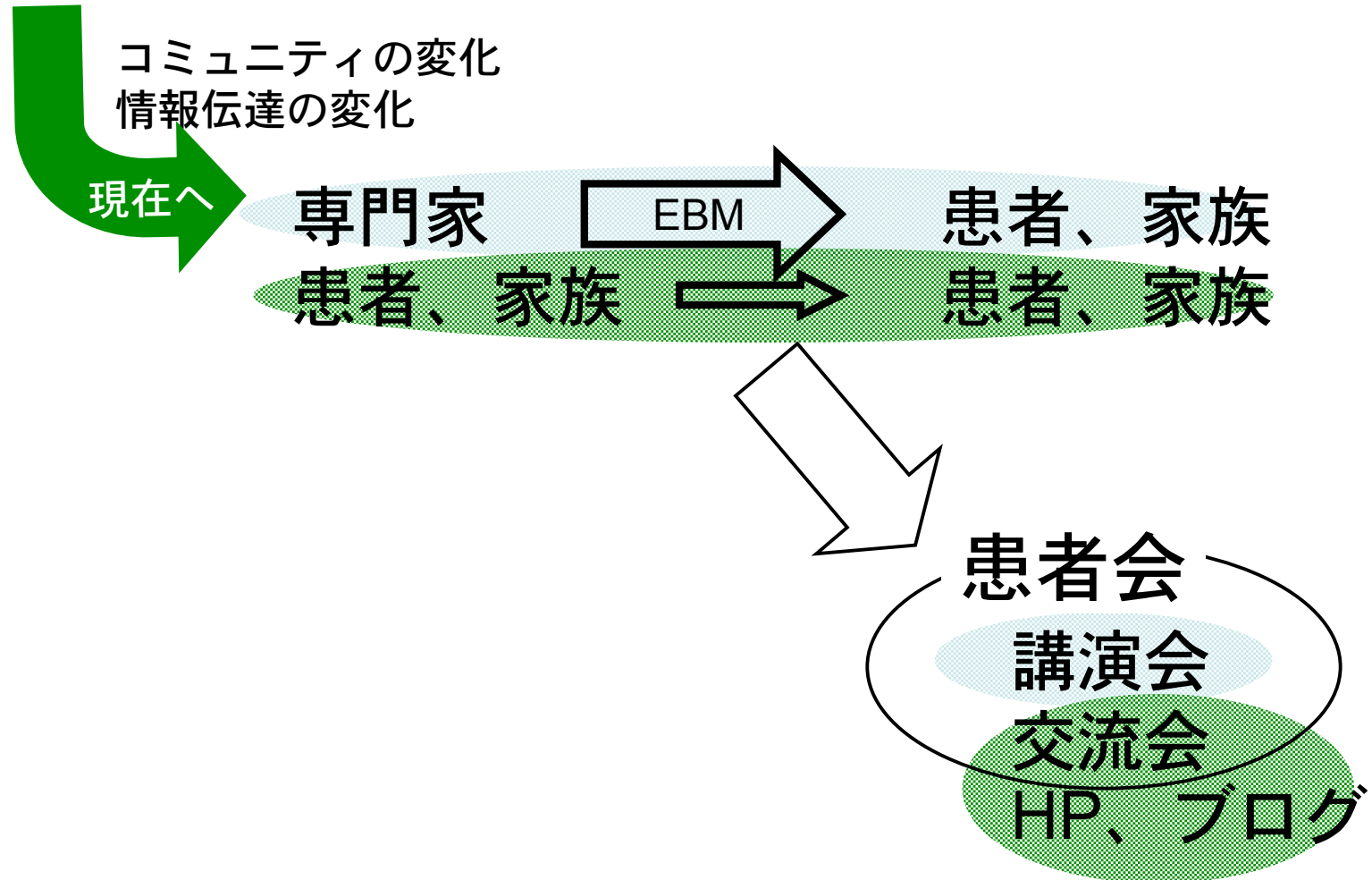
専門家
患者、家族



患者、家族
患者、家族

患者、家族への情報

専門家（医師など） ⇨ 患者、家族



患者、家族への情報

専門家（医師など） ⇨ 患者、家族

コミュニティの変化
情報伝達の変化

現在へ

専門家

EBM

患者、家族

患者、家族

患者、家族



病院の喫煙所など

患者、家族の集まれる場

患者会

講演会

交流会

HP、ブログ

患者、家族への情報

院内患者会

外来患者

入院患者

時間と空間を越えた
新しい情報伝達

患者、家族

患者、家族



病院の喫煙所など

患者、家族の集まれる場

患者会

講演会

交流会

HP、ブログ

院内患者会



患者からの声

「元気と勇気をもらえた」
「貴重な体験談を聞くことができた」
「明日への希望がわいてきた」
「次回も是非とも参加したい」



医療者からの声


「患者さんの元気な姿に接し、仕事に対する意欲が高まった」

「本当の自分を理解してもらった良い機会となった」

「患者さんの本音を聞くことができ、有意義だった」

「次回も是非とも参加したい」

院内患者会


院内患者会

【目的】院内患者会とは、同じ病院の退院後の患者（家族）と入院中の患者（家族）の方々が医療者の協力も得ながら、おしゃべり会の開催などを通して交流することを目的とするものです。院内での活動が主ですので入院中の方や医療者の方々も参加しやすい形となっています。

【運営方法】院内患者会は患者（家族）の方々が中心となり運営するものですが、その活動を有意義なものとするためには医療者の方々の理解と協力が重要です。特に、患者会の設立時には医療者側からのアドバイスと支援がとても大事になります。また、右に書かれている院内患者会世話人連絡協議会にて設立のや運営のサポートを行っています。

【実績】全国で20近くの**院内患者会**が活動しています。東京大学医学部附属病院、虎の門病院、郡立駒込病院、筑波記念病院、日立総合病院、金沢大学医学部付属病院、富山県立中央病院、香川大学医学部付属病院など

【現場の声】

患者からの声
 「元氣と勇氣をもらえた」
 「貴重な体験談を聞くことができた」
 「明日への希望が湧いてきた」
 「次回もぜひとも参加したい」

医療者からの声
 「患者さんの元氣な姿に接し、仕事に対する意欲が高まった」
 「本当の自分を理解してもらう良い機会となった」
 「患者さんの本音を聞くことができ、有意義だった」
 「次回もぜひとも参加したい」

院内患者会世話人連絡協議会は、会の世話人の方が年に2回集まり開催しています(2007年11月3日に第3回目が東京大学医学部研究所にて開催されます)。これから院内患者会を設立しようと考えている方への支援、現在患者会を運営している人への支援活動を行っています。

院内患者会設立マニュアルは11の患者会、院内患者会の方々からのアンケートをもとに作成した、患者会を作るときのお手本書です。マニュアルはホームページからのダウンロードによる無料配布を行っております。

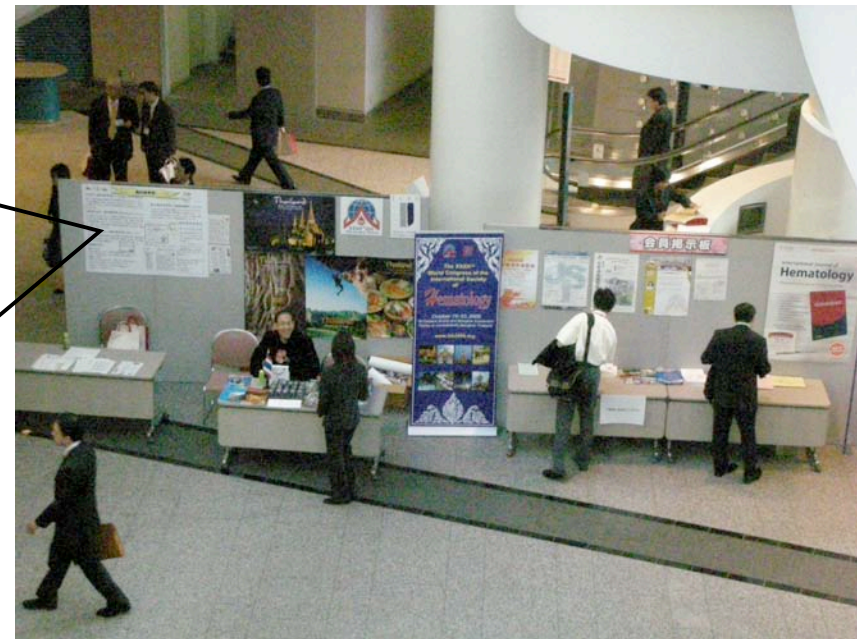
メディアでも取り上げられています。

朝日新聞 2007年3月16日

日経新聞 2007年4月22日

お問い合わせ質問などお気軽にご連絡ください

院内患者会世話人連絡協議会 会長
 東京大学医学部研究所 助教
田中 祐次
Yana-kyu@uimr.net
 070-6658-5008



第69回日本血液学会・第49回臨床血液学会合同総会
 2007年10月 パシフィコ横浜

院内患者会世話人連絡協議会

<http://www.medicina-nova.com/>

世話人からの声

会の運営などに関して

- 限られた人数で、内容が限られてくると、マンネリ化する場合もある。
- できるだけ多くの人に参加して欲しい。
- 完治した患者さんが参加するだけで、入院中の患者さんは参加しないので、どうすれば参加できるのか？
- 患者会で、家族のストレスも発散できる。
- 目の前のことを少しずつ解決していくことが大切。

病院への希望など

- 医療従事者とファーストネームで呼び合うことにより、医療者の方と患者との距離を縮めることができる。
- 医療従事者とコミュニケーション不足が問題となる。そのうち溝が出来て、爆発する結果、院内暴力が起きる。
- コミュニケーションがとれない患者さんは、症状が悪くなることがある。
- 医者・看護師不足で、話をじっくり聞く機会が無い。
- 患者さんとその家族の橋渡しができる人が必要。
- 元気になっている患者さんの姿をみると、看護師さんが逆に元気をもらえる。
- 80歳になる女性が、尿量を測るためポータブルトイレで排尿したときに、看護師さんから「たくさん出たね！」と言われた一言が、とても恥ずかしく、それ以来、看護師さんとコミュニケーションがとれなくなり、症状が悪くなって亡くなってしまった。

院内患者会世話人連絡協議会

<http://www.medicina-nova.com/>

世話人からの声

会の運営などに関して

- 限られた人数で、内容が限られてくると、マンネリ化する場合もある。
- できるだけ多くの人に参加して欲しい。
- 完治した患者さんが参加するだけで、入院中の患者さんは参加しないので、どうすれば参加できるのか？
- 患者会で、家族のストレスも発散できる。
- 目の前のことを少しずつ解決していくことが大切。

病院への希望など

- 医療従事者とファーストネームで呼び合うことによることができる。
- 医療従事者とコミュニケーション不足が問題となる院内暴力が起きる。
- コミュニケーションがとれない患者さんは、症状が
- 医者・看護師不足で、話をじっくり聞く機会が無い
- 患者さんとその家族の橋渡しができる人が必要。
- 元気になっている患者さんの姿をみると、看護師さんか返に元気と嬉しい。
- 80歳になる女性が、尿量を測るためポータブルトイレで排尿したときに、看護師さんから「たくさん出たね！」と言われた一言が、とても恥ずかしく、それ以来、看護師さんとコミュニケーションがとれなくなり、症状が悪くなって亡くなってしまった。

外来患者

入院患者



院内患者会世話人連絡協議会

<http://www.medicina-nova.com/>

世話人からの声

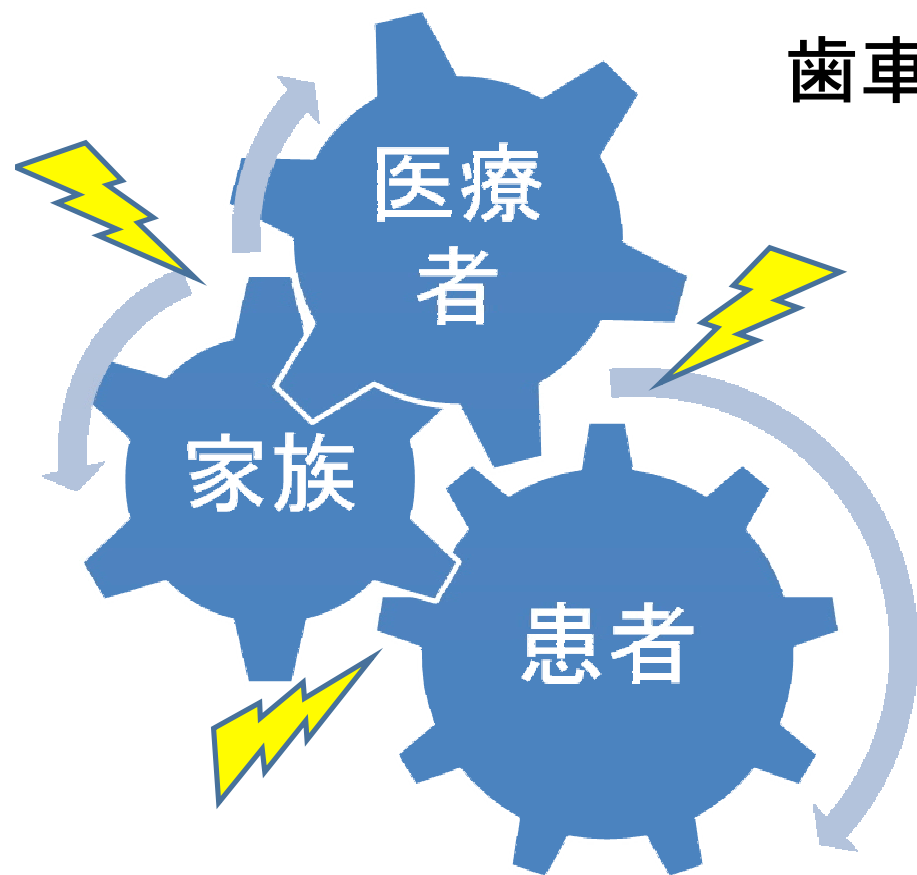
会の運営などに関して

- 限られた人数で、内容が限られてくると、マンネリ化する場合もある。
- できるだけ多くの人に参加して欲しい。
- 完治した患者さんが参加するだけで、入院中の患者さんは参加しないので、どうすれば参加できるのか？
- 患者会で、家族のストレスも発散できる。
- 目の前のことを少しずつ解決していくことが大切。

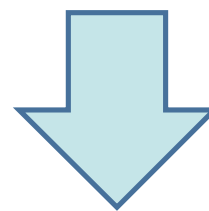
病院への希望など

- 医療従事者とファーストネームで呼び合うことにより、医療者の方と患者との距離を縮めることができる。
- 医療従事者とコミュニケーション不足が問題となる。そのうち溝が出来て、爆発する結果、院内暴力が起きる。
- コミュニケーションがとれない患者さんは、症状が悪くなることもある。
- 医者・看護師不足で、話をじっくり聞く機会が無い。
- 患者さんとその家族の橋渡しができる人が必要。
- 元気になっている患者さんの姿をみると、看護師さんが逆に元気をもらえる。
- 80歳になる女性が、尿量を測るためポータブルトイレで排尿したときに、看護師さんから「たくさん出たね！」と言われた一言が、とても恥ずかしく、それ以来、看護師さんとコミュニケーションがとれなくなり、症状が悪くなって亡くなってしまった。

患者-患者家族-医療者のズレ (情報、感情)

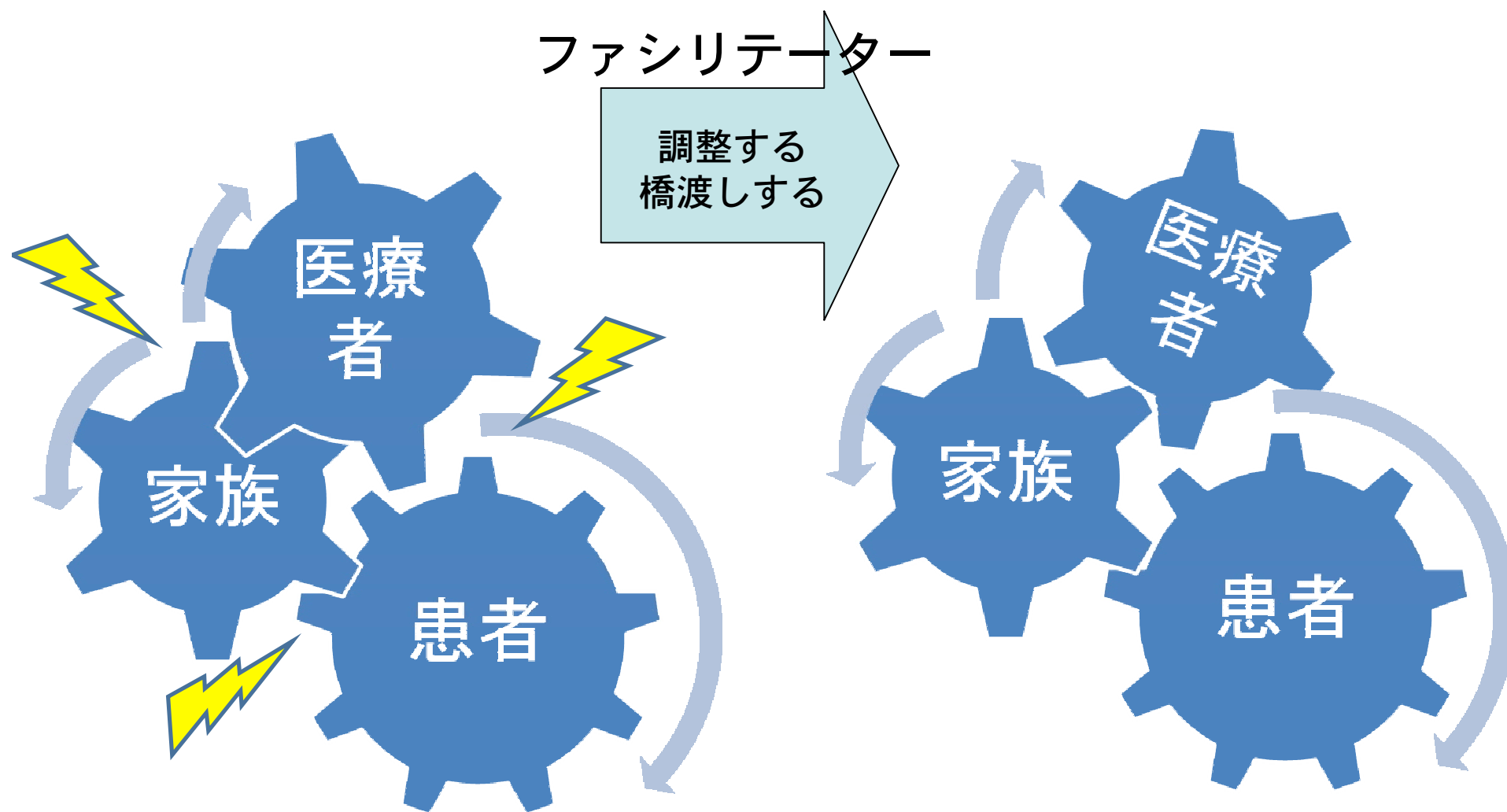


歯車がうまく噛み合っていない



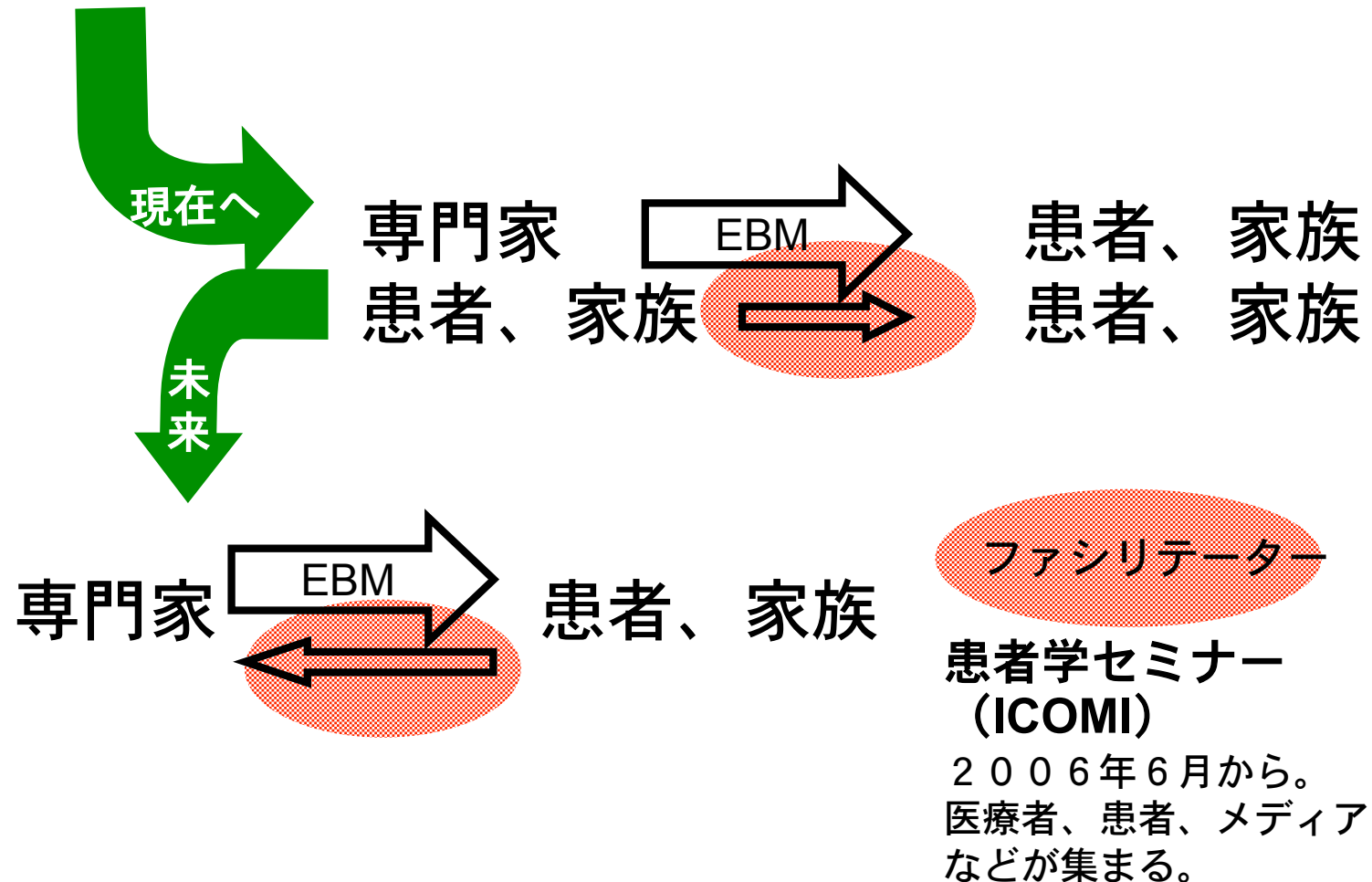
医療不信
医療訴訟

患者-患者家族-医療者のズレ (情報、感情)



患者、家族への情報

専門家（医師など）⇨ 患者、家族



患者学の今後の活動

- 院内患者会の拡大

- 院内患者会世話人連絡協議会



- 研究の場

- 院内患者会
- 患者会
- そのほか



- 科学的証明

- ファシリテーターの育成



ICOMI

謝辞

- 東京大学医科学研究
 - 探索医療ヒューマンネットワークシステム部門
 - 准教授 上 昌広
 - 助教 松村有子
 - リサーチフェロー 児玉有子、畑中暢代、西村有代
 - 内科
 - 湯地晃一郎、瀧田盛仁
- 院内患者会世話人連絡協議会
- NPO血液患者かコミュニティ ももの木
- ICOMI